

現場の安全対策の取り組みが認められました。

6月30日(火)に、湯沢砂防事務所にて「令和2年度全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」の表彰式を行いました。

表彰論文は、全国砂防工事各発注者（直轄砂防事務所、都道府県）より推薦のあった論文の中から優れたものが選考されるものであり、湯沢砂防事務所では2月に実施した令和元年度安全・施工研究発表会の結果から下記論文を推薦し、今回優秀論文として選考されることとなりました。

本来は、土砂災害防止月間期間中の6月に発表会が東京で実施されること、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期されたことを受け、優秀論文の表彰式を各受賞事務所等で開催しました。



■ 優秀論文名

砂防工事における安全対策の創意工夫

■ 執筆者（発表者）名

株式会社文明屋 監理技術者 相田 勇 様



表彰概要

・「松川入川溪流保全工工事」の施工にあたりヒヤリハット報告のうち繰り返し報告された問題点と対策について作業員に見立てた人形を使用して危険な場面を再現することにより、わかりやすく記憶に残る安全訓練を実施するなど現場全体の安全管理意識の向上と浸透に取り組み工事が無事に完成させました。このことは、創意と工夫に富んだ取り組みであり全国の模範となるものとされ、表彰されました。

※「全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」は、平成8年に長野・新潟県境の蒲原沢で発生した土石流災害を契機に、施工条件が激しい砂防工事における安全施工技術について、行政と民間との共同で研究や対策に取り組んでいる成果を当研究発表会で広く共有し、技術の研鑽を図ることを目的とし、平成11年から実施。